

## 誰かが誰かに、大切なこと、 素敵なものを伝えていく場所

「三左蔵」が残る「小杉御殿町」は、江戸の昔、徳川家康公の鷹狩りの御殿があったことからその名前が付いています。

隣には陣屋があり、今でも「小杉陣屋町」と呼ばれています。

当時はまだ東海道が整備されておらず、この「小杉御殿」を経由する「中原街道」が、上方への主要な幹線道路でした。

御殿のあった小杉は、東西を行き来する人々のための宿場町として、大いに栄えていたと言われています。

その時から質屋や呉服屋を営んでいた小林家には、江戸時代の土蔵が二棟、今でも残されていました。

一棟は衣装蔵、もう一棟は味噌蔵であったものと思われます。

300年余の間には、何度かの改修が施されていますが、その梁や基礎、壁などは当時のままに現存しています。

土蔵の中の気温は、夏は涼しく、冬は暖かく保たれ、所蔵品は黴たり腐ったりすることなく、現代まで大切に残されていました。

今回、傷みがひどかった基礎や柱の一部を補修し、新たに階段やトイレ、キッチンなどを取り付けました。

寺社建築専門の棟梁を数ヶ月にわたって招き、可能な限り釘を使わず、組木だけで建てられた当時の建築仕様を現代に再現しました。

所有者である小林家の当主が代々「三左衛門(さんざえもん)」を名乗っていたことから、この蔵を「三左蔵(さんざくら)」と名付け、皆様に公開することとしました。

300年を超えて呼吸し続ける木の温もりと、そこに流れるゆったりとした時間と空気を、ぜひ感じて頂ければと思っています。

小林かおり

### 「寺子屋 三左蔵」

企画・施主／小林覚・小林かおり

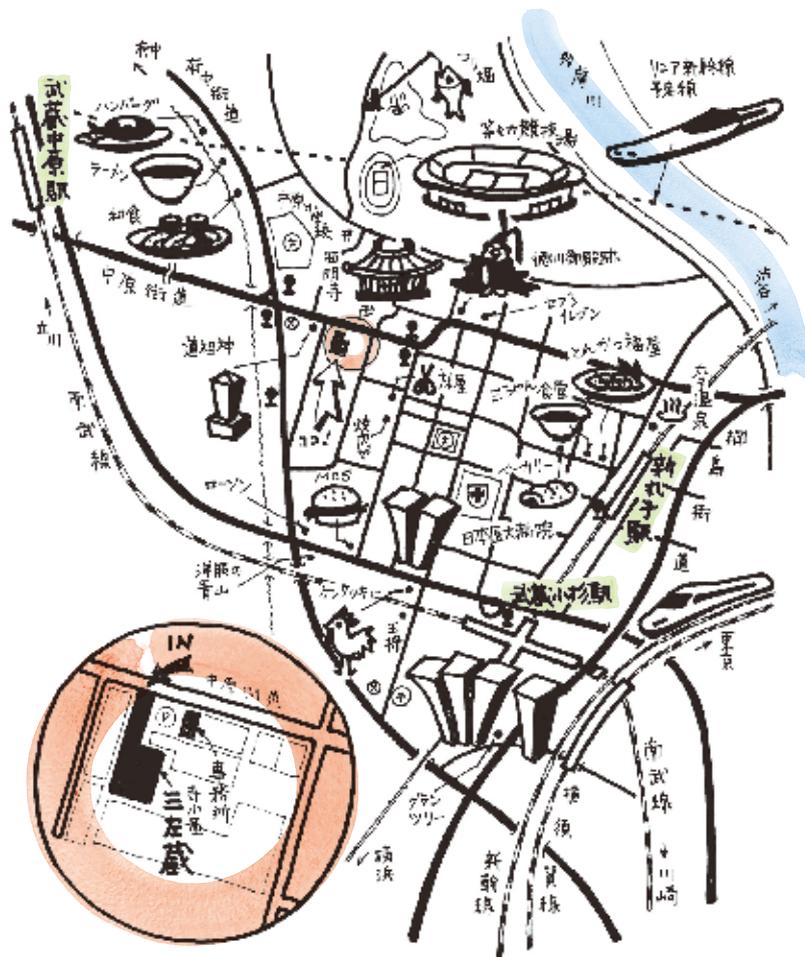
設計・監理／本瀬齋田建築設計事務所 <http://www.age.am/~contrast/>

施工・木工／鞍城建設株式会社 <http://anjoh.jp/>

造園・外構／アルモサービス株式会社・有限会社田畑興業・中原緑化

HP制作・撮影／株式会社イメージングワークス <https://www.image-w.jp/>

リーフレットデザイン／吉野修平(ヨシノデザインオフィス)



〒211-0068 神奈川県川崎市中原区小杉御殿町2-111

東横線／目黒線・新丸子駅より徒歩10分

JR南武線／東横線／目黒線・武蔵小杉駅より徒歩12分

JR南武線・武蔵中原駅より徒歩15分

※駐車場は、主催者用の1台のみご利用可能です。(10時～20時／月曜・火曜日休)

ご予約・お申し込み

<https://www.sanza-gura.jp>

上記HPの〈お申込フォーマット〉にご記入のうえ、

メールにて [sanzagura@gmail.com](mailto:sanzagura@gmail.com) までお送りください。

※オーナーとお知り合いの方は、直接オーナーまでお問い合わせください。

予約が確定しましたら、翌日までにお返事いたします。

緊急連絡先／電話 080-1106-2561 (担当・岩城)



江戸時代の土蔵。



築三百五十年、

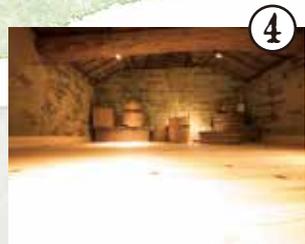
<https://www.sanza-gura.jp>

コンセプトワーク／スペースデザイン

小林かおり

木造2階建ての2棟、「壺の蔵」と「式の蔵」をセットでお貸しします。  
 「壺の蔵」はフリースペース&リビング、  
 「式の蔵」はキッチン&トイレ&バックヤードとなっており、  
 10~20名様程度まで、目的に応じてご自由に利用可能です。

原則として椅子は使用せず、床に座布団を敷いてご利用いただけます。  
 「壺の蔵」には、テーブルや電源、冷暖房も完備されています。  
 詳しい備品などは三左蔵HPの一覧表をご覧ください。



式の蔵 2階



式の蔵 1階



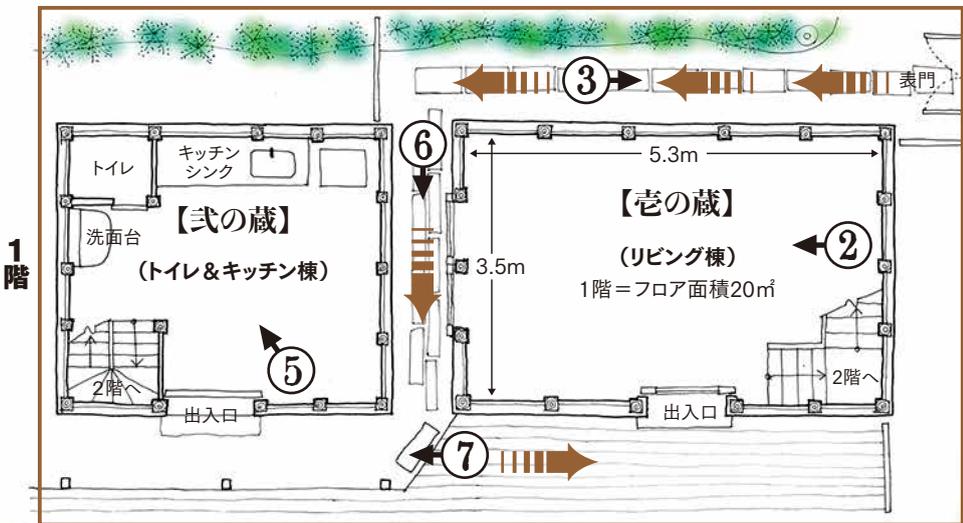
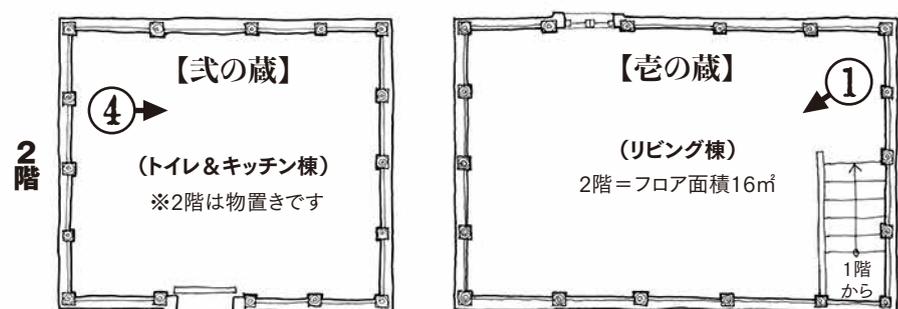
2棟間の御影石アプローチ



式の蔵前のベンチ



**長梯子**  
 土蔵の外壁には、二階屋根の修復に使われていたものと思われる「長梯子」が現存しています。  
 一本の木から、これだけ長く真っ直ぐな梯子を切り出すのは非常に困難で、国内でもほとんど現存の例がないと言われます。  
 釘を一本も使わずに作られています。  
 100年以上も屋外の風雨に耐えてきた貴重な遺産です。



**主蔵の梁**  
 樹齢1,000年ほどの松が使われているものと考えられます。緩やかな弧を描いており、それが屋根と骨格を支える形になっています。素材の強さを活かすため、一般的な「鉋(かんな)」削りに加え、「鉦(ちような)」と呼ばれる手斧を使って職人が丹念に仕上げたものと想像されています。



**檜の丸テーブル**  
 檜の巨木から、それも輪切りではなく「縦切り」に切り出した一枚板で作られたテーブルです。脚は折り畳み式ですが、釘は一本も使われていません。100年ほどは経っているものと思われませんが、まったく反ったり割れたりもしていません。これだけ薄い一枚板のテーブルは、現代では滅多に見られない貴重な遺産です。



壺の蔵 2階



壺の蔵 1階



敷石(御影石)

三左蔵へのアプローチに使われているのは、「ノミ切り仕上げ」といい、御影石の原を、ノミ一本の手仕事で削りながら平に仕上げたもの。機械削りが一般的な日本では、今やもうその職人がいないため、ほとんど生産されることのない非常に貴重な石材です。小林家に遺されていたものをそのまま使用しました。

## ご利用にあたって

「寺子屋 三左蔵」は、その名の通り、現代版の寺子屋をコンセプトとしています。文化財を大切に後世に引き継ぐために、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

- ① パーティや宴会などには、ご利用いただけません。飲酒、喫煙もご遠慮ください。
  - ・フリースペースとしてご利用いただけますが、目的は「学びの場」となります。
  - ・原則として、レンタル時間帯のアルコール類の持ち込み、飲酒はお控えください。
  - ・学びの場に伴う軽食や飲み物の持ち込みは自由です。
  - 「式の蔵」のキッチンと冷蔵庫も使用できます。
  - ・木造建築でもあり、棟内・棟外ともに、全面的に禁煙とさせていただきます。

- ② 利用目的は、下記のような教室やワークショップ、勉強会やセミナーなど、「学びの場」に限らせていただきます。
  - ・英会話や書道、生け花などの習いごと
  - ・読み聞かせや、各種講座・講習会・セミナー
  - ・簡単な工作や、モノ作りのワークショップ
  - ・ヨガやピラティスなど、激しくないレッスン
  - ・病気やけがの治療に関する相談会やカウンセリング
  - ・不登校児のための特別教室、補習授業
  - ・落語などの伝統芸能やクラシック音楽を鑑賞する会 など

- ③ 政治活動や宗教の勧誘などにはお貸しすることができません。
  - ・あくまで「寺子屋」として、
  - ②の目的に沿ってご利用ください。
  - ・それ以外の特殊な活用方法については、事務局までご相談ください。

- ④ 利用時間帯と料金(消費税込み)

全日共通 ※月曜日・火曜日休館  
 10:00~12:00(2時間)=3,000円 13:00~16:00(3時間)=5,000円  
 17:00~20:00(3時間)=5,000円 13:00~20:00(7時間)=10,000円  
 ※搬入や片付けの時間も含まれます。  
 ※全日とも、20:00が施錠時間となりますので、それまでにご退室ください。

〈初期登録料〉1団体(個人)=3,000円  
 ※ただし、当面の間は登録料を無料とします。

〈お支払い〉当面の間、原則としてご利用の当日に、現金にて拝受します。

〈キャンセル料〉ご利用の1週間前からは、キャンセル料を頂きます。  
 前日までにご連絡頂いた場合は一律1,000円、  
 当日キャンセルの際は、ご利用料金を全額を頂きますのでご了承ください。  
 (次回ご利用時にお支払いください)



2階はギャラリーとしても利用できます



机と椅子を並べて教室スタイルとしても